

船橋 YMCA 通信



No. 113 2020年3月1日

編集 一般財団法人千葉YMCA船橋地域デポ 発行人 榎一光

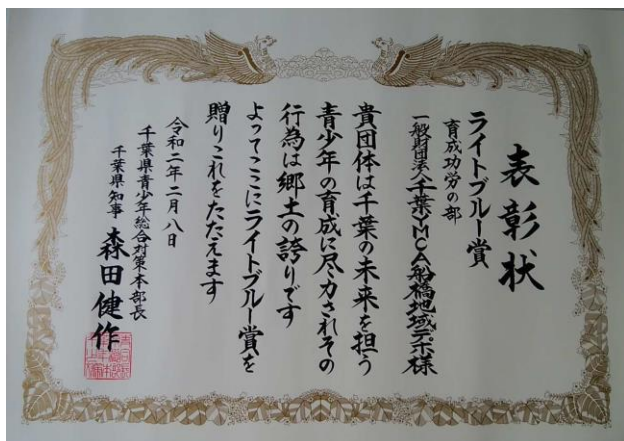
〒273-0825 船橋市夏見6-6-6 日本基督教団船橋教会内

電話：(047)425-6366 F A X：(043)222-5061



ライトブルー賞を受賞

千葉YMCA船橋地域デポは、2005年から継続実施してきた障がい者理解体験教室の貢献を認められて、千葉県青少年総合対策本部長から育成功労の部(団体)でライトブルー賞を受賞しました。



表彰式は、2月8日(土)に千葉市中央区の蘇我コミュニティセンターで行われ、私(榎)が代表として千葉県副知事から賞状と記念品を授与されました。千葉県知事の森田健作氏は不在でした。



記念品の盾は、高さ13cmの亚克力ガラス製です。この受賞は、船橋市ボランティアセンターが船橋市に推薦してくれ、船橋市が千葉県に推薦してくれて、県の評価委員会で採択された結果です。

障がい者理解体験教室の実施に当たっては、毎

回多くのボランティアの方々のご協力をいただいております。皆様とともにこの受賞を喜びたいと思います。

障がい者理解体験教室を開催

2020年1月17日(金)に飯山満小学校で、障がい者理解体験教室を開催しました。対象は5年生120名で車いす体験、視覚障がい体験および高齢者疑似体験を行いました。

ご協力いただいたボランティアの方々には、車椅子レクダンス協会矢車草のメンバー11名、二宮・飯山満地区社会福祉協議会のボランティア7名、ボランティアサロンふなばしのメンバー3名、ボランティアセンターのスタッフ2名と千葉YMCAのボランティア4名でした。



《飯山満小の車いす体験の様子です》

車いす体験は、介助される人と介助する人を交互に経験したあと、一人で車いすを操作する自走体験も行います。



《飯山満小の視覚障がい体験の様子です》

視覚障がい体験は、アイマスクをして介助者の手首を軽くつかんで白杖を使って階段の昇り降りを体験します。



《飯山満小の高齢者疑似体験の様子です》

高齢者疑似体験は、両手首・両足首に錘をつけて、手の肘と脚の膝に動きを悪くするサポーターを巻き、白内障を模擬した視野の狭くなるめがねを掛けて、杖をついて障害物の上を歩きます。



《飯山満小の車いすダンスの様子です》

車いすダンスは車椅子レクダンス協会矢車草のメンバーによる模範演技のあと、全員で踊ります。



《飯山満小の障がい者の講話の様子です》

体験教室の最後は、日常の生活を車いすで送っている方々から、困っていること、助けてもらって嬉しかったことなどのお話を聞きます。

今年のチャリティーラン

今年の千葉YMCAインターナショナル・チャリティーランは、10月17日（土）に船橋市運動公

園で開催されます。

昨年のチャリティーランは、台風19号の直撃を受けて中止になりましたが、皆様から頂いた益金で、船橋市の発達に凸凹のあるこどもたち22名を招待して2019年11月23日～24日の日程で第3回ほっこり、にっこりわんぱくキャンプを開催することができました。ご協力をいただいた皆様に感謝申し上げます。

今年こそ実施できるように、多くの方々の参加とスポンサーシップをお願い申し上げます。

ふなばし市民活動フェアへ参加



2月1日（土）に船橋駅前のフェイシブルの市民活動サポートセンターで開かれた船橋市主催「ふなばし市民活動フェア」に参加しました。今年も、ブース出展はやめパネルのみの出展にしました。参加者は600名あったそうです。

《ふなばし市民活動フェアのYMCAパネル》

船橋YMCA活動記録

船橋YMCAの1月、2月の活動記録です。

- ・1月17日（金）飯山満小障がい者理解体験教室
- ・1月17日（金）ビジョン委員会
- ・1月21日（火）常議員会
- ・2月1日（土）ふなばし市民活動フェア
- ・2月8日（土）ライトブルー賞表彰式
- ・2月26日（水）YMCAピンクシャツデー

編集後記

障がい者理解体験教室は、これまでに96回開催され、12,300名をこえる小中学生が貴重な体験をしました。この度のライトブルー賞受賞を励みに続けていきたいと思っています。（楨）